

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉援助演習Ⅲ (2単位)	3. 科目番号	SCMP4170
2. 授業担当教員	鈴木 愛子		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワーク演習Ⅰ、Ⅱ、精神保健福祉援助演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは、1年次から4年次まで断続的に学習するよう構成されている。グループ討議、ロールプレイ、文献調査、社会調査、事例検討等の多様な方法を用いて、精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を視野に入れながら、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養することを目的としている。</p> <p>精神保健福祉援助演習Ⅲでは、実習体験をソーシャルワーク概念に結びつけながら振り返るとともに、実践モデル。アプローチを実践的に学び、終了した時点で、実習での体験を踏まえ精神保健福祉相談援助に係る知識と技術について個別的な体験を一般化し、実践的な知識と技術として習得することを目的とする</p>		
8. 学習目標	<p>精神保健福祉の知識と技術に係る科目との関連も視野にいれつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>そのために、下記のような授業形態により行われる。</p> <p>①総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的に取り上げる。</p> <p>②個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とした演習形態により行う。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	実習での振り返りを理論的に行っていくため、その都度実習の振り返りを事前にしてくることを課題とする。課題は後日提出し、評価の対象となる。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集 『精神保健福祉士養成セミナー 7巻 第6版 精神保健福祉援助演習〔基礎〕〔専門〕』へるす出版</p> <p>【参考書】 長崎和則・辻井誠人・金子勉著『事例でわかる！精神障害者支援実践ガイド』日総研出版、2006</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 実習の体験と理論を統合して理解できる。</p> <p>2. 授業を受ける基本的マナー（出席状況、提出物等）を守り、授業に積極的に参加している。</p> <p>○評定の方法</p> <p>1 授業時に出される課題、発表、提出物 : 総合点の70%</p> <p>2 授業への積極的参加態度 : 総合点の30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	精神保健福祉士を目指して学んできた講義科目、演習科目、実習での体験の総まとめとなる授業です。学んできたことを結びつけて理解を深められるよう、また就職して働くに際して即戦力となれるよう、積極的な態度で授業に参加することが期待されます。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	・オリエンテーション ・精神保健福祉援助演習Ⅱで学んだことの振り返りと演習Ⅲのねらいの解説	事前学習	精神保健福祉援助演習Ⅱで学んだことを振り返る。
		事後学習	演習Ⅲで学びたいことを書きだす。
第2回	・自己覚知、ソーシャルワーカーとしてのアイデンティティ—当事者との関わり等を通して気付いた自分自身と実習を通して身に着けたソーシャルワーカーとしてのアイデンティティを振り返る。	事前学習	実習体験を通して気づいた自分自身についてまとめる。テキスト〔基礎編〕第2章Ⅰ「専門職としての価値と倫理」を熟読する。
		事後学習	授業でのディスカッション等を通しての考察をまとめる。
第3回	・クライアントに対する姿勢：バイステックの7原則—実際の援助場面で学んだバイステックの7原則について振り返る	事前学習	テキスト〔基礎編〕第2章Ⅱ～Ⅳ「相談援助の対象」～「援助関係の形成」を熟読する。
		事後学習	授業を通しての考察をまとめる。
第4回	・社会資源とその活用・調整・開発—当事者を支援するうえで、活用した社会資源とその活用方法についてまとめ、発表する。関わった当事者の方たちに必要な資源について考えるとともに、資源の調整・開発の方法を考察する	事前学習	実習中活用した社会資源とその活用方法についてまとめ、発表の準備をする。
		事後学習	発表を通して学んだことをまとめる。
第5回	・チームアプローチ（ネットワークング、アウトリーチ）—チームアプローチを用いて支援した事例を振り返る	事前学習	実習中のチームアプローチの事例を記入する。

	<ul style="list-style-type: none"> ーチームアプローチを行う上で、精神保健福祉士がどのような役割を担っていたかまとめる ー自分自身が担った役割を振り返り、自己の課題を認識する 	事後学習	授業を通して学んだことをまとめる。
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ケースワーク（1）：ケースの振り返り ー自分がかかわったケースを振り返る 	事前学習	実習中記入したソーシャルワークケース記録を見返す。
		事後学習	授業を通しての考察をまとめる。
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ケースワーク（2）：ケースの振り返り、発表① ー出会いの場面、情報収集の方法、アセスメント、プランニング、支援の実施等ソーシャルワークの展開過程に沿って当事者の方との関わりを振り返る 	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	授業を通しての考察をまとめる。
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ケースワーク（3）ケースの振り返り、発表② 出会いの場面、情報収集の方法、アセスメント、プランニング、支援の実施等ソーシャルワークの展開過程に沿って当事者の方との関わりを振り返る 	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	授業を通しての考察をまとめる。
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ケースワーク（4）ケースの振り返り、発表③ 出会いの場面、情報収集の方法、アセスメント、プランニング、支援の実施等ソーシャルワークの展開過程に沿って当事者の方との関わりを振り返る 	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	授業を通しての考察をまとめる。
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ケースワーク（5）：ケースの振り返り、まとめ 実習中の自身が行ったケースワークを振り返り、学んだことをソーシャルワークの価値、技術に結びつけてまとめる 	事前学習	学んだことを書きだす。
		事後学習	授業を通しての考察をまとめる。
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワークモデル、アプローチと実践の統合（1） ーソーシャルワークアプローチについて復習する（ICF、バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ストレングスモデル。解決志向アプローチなど 	事前学習	ソーシャルワークモデル、アプローチを復習する。
		事後学習	実習中の体験とソーシャルワークモデル、アプローチを結びつけて考察する。
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワークモデル、アプローチと実践の統合（2） ーソーシャルワークアプローチについて復習する（行動変容アプローチ、危機介入アプローチ、エンパワメントアプローチ、リカバリーなど） 	事前学習	ソーシャルワークモデル、アプローチを復習する。
		事後学習	実習中の体験とソーシャルワークモデル、アプローチを結びつけて考察する
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワークモデル、アプローチと実践の統合（3） 実習の事例報告① 	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	授業を通しての考察をまとめる。
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワークモデル、アプローチと実践の統合（4） 実習の事例報告② 	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	授業を通しての考察をまとめる。
第15回	<ul style="list-style-type: none"> まとめ ー精神保健福祉援助演習Ⅲで学んだことを振り返る 	事前学習	授業で学んだことを振り返る。
		事後学習	精神保健福祉援助演習Ⅲで身に着けたことをまとめる。ワーカーとしての自身のストレングス・課題をまとめる。